

インパルスシーラー使い方

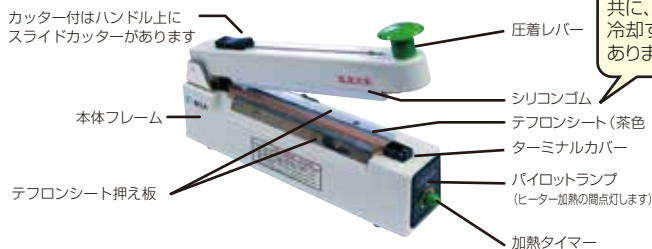
ここではBSAインパルスシーラーを安心して
毎日お使い頂けるように正しい使い方をご紹介します。



シーラーの仕組み

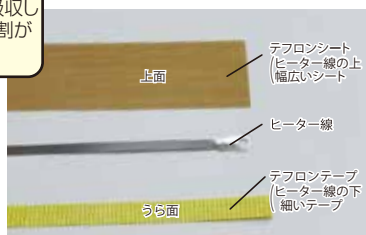
シーラーは熱で包装材を溶かして結合する簡単な仕組みの電気製品です。
中央に走るヒーター線にわずかな時間通電し、その熱を利用してビニールを溶かし、紙にしみこませることでシールが行われます。シンプルな構造であるためトラブルの原因の多くは熱線が蓄熱することが原因で起こります。ここでは毎日安心してお使い頂けるための3つのポイントをご紹介します。

各パーツ名称 シリーズ共通



ヒーター線の熱を圧着すると共に、熱を吸収し冷却する役割があります

ヒーター部分のパーツ構成



溶けたビニールからヒーター線を保護し、ヒーター線の熱を均等にパウチに伝える役割があります。外すとパウチが燃えます

熱を発生するパーツです。

ヒーター線で発生した熱を本体フレームに吸収されることを防ぎ、効率よくパウチに伝える働きをします。

キレイなシーリングのポイント

① ビニール面を下にしてシーリング。② タイマーのメモリは2.5以下に。



滅菌パックをシーリングする場合、ビニール面を下にしてシール作業を行ってください。紙面を下にしてシーリングすると紙を通してヒーターの熱が伝わるため、通常より発熱量が多く必要となり、タイマー目盛を3以上に上げなくては、ビニールが溶けなくなります。結果として焦げはじめが早くなり、消耗品の寿命も短くなります。



タイマーの通電時間は、きれいにシールできる最短時間でセットします。滅菌パックの場合、**加熱タイマーのメモリは2.5を目安に。**

連続使用の場合は2.5以下で十分シール可能です。タイマーメモリ(加熱時)を必要以上にあげるとはシール不良(ビニールがトロケル、煙がでる、紙がコゲルなど)の原因となり消耗品の寿命も非常に短くなります。

③ クーリングタイムは3秒以上。

タイマーに付いているパイロットランプが点灯している間は加熱中です。0コンマ何秒というわずかな時間で瞬間的に高い熱を発生し、ビニールが溶け、紙にしみ込むことでシールが行われます。**赤いランプが消えた後、3秒間はレバーを上げないでください。**この時間をクーリングタイムと呼び、紙にしみ込んだビニールがさめる時間を言います。クーリングタイムを3秒以上とらないで圧着レバーを上げると、キレイなシールが出来ずシール不良になります。またシールとシールの間隔は15秒ほどこの時間を空けてください。この時間を十分確保せず連続使用されると蓄熱し消耗品の寿命が短くなります。

圧着レバーのシリコンゴムはヒーター線で発生した熱を吸収して、早く冷ます役割があります。そのため焦げたシリコンゴムは早めに交換してください。

※通常の使用方法と異なり、焦げたシリコンゴムの上にデフロンテープを貼ってご使用している方の修理依頼が多く見られます。

シリコンゴムには何も貼り付けしないでください。

消耗品の交換手順

●デフロンシートの交換手順



①デフロンシート押さえ板の片側のネジを外します。反対側の押さえ板ネジはゆるめるだけでデフロンシートが外れます。※焦げたデフロンシートをそのままお使いになると、溶けたビニールがデフロンシートやヒーター線に付着しキレイなシールが行えません。早目の交換を行ってください。



②デフロンシートを片側にさしこみネジをかるく締めます。

③反対側の押さえ板の取付けネジを締め完了です。

注意 ※デフロンシートが焦げて黒くなってきた場合や滅菌パックがシートにくっつくようになってきた場合は、早めに交換してください。
※デフロンシートは必ず純正品をご使用ください。

●デフロンテープの交換手順



①上の方法でデフロンシート、ヒーター線を外した後、デフロンテープの裏面シールをはがします。(古いテープの糊が本体フレームに残っている場合はアルコールなどで拭き取り凹凸がないことを確認してください。)

②新しいテープを貼り、ヒーター線、デフロンシートの順で取付け完了です。

注意 ※デフロンシートを細く切ってデフロンテープの代わりにお使いにならない場合がありますが、故障の原因となります。デフロンシートはデフロンテープの代用になりませんのでヒーター線の下には使用しないでください。

●ヒーター線の交換手順

※デフロンシートを外さなければ断線がわからない場合があります。



①左の手順でデフロンシートを外します。デフロンシートを外すとヒーター線が出てきます。ヒーター線が切れていれば交換してください。
②手前にあるターミナルカバーを外します。



③ターミナルカバーを外すとヒーター線を固定するネジがあるのでネジを外し、新しいヒーター線と交換します。※機種によりヒーター線は全て異なります。必ず取付されていたものと同じ長さ、同じ巾のヒーター線であることをご確認ください。



①②は共にヒーター線を止めているネジの締め付けが弱い場合、又はネジに付いているワッシャーを外して取り付けた場合に発生します。どちらの場合もヒーター線と本体の間に小さな火花が発生し、その火花でヒーター線を溶かしやすく断線してしまいます。

注意

ヒーター線取付ネジの締め付けが弱い場合、接点不良により火花が散ります。断線の原因となりますのでこの場合はネジを強く締め付けてください。

取付ネジに付いているワッシャーは必ず取り付けてください。接点不良により火花が散り断線の原因となります。

火花でネジが焦げている場合はネジを交換してください。(1ヶ100円)

B.S.A.インパルスシーラーW-205P・W-305P

取扱説明書

2017.12

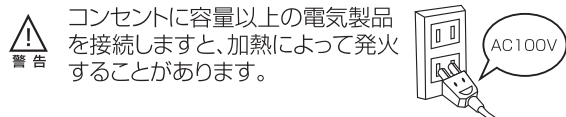
この度は、ビーエスエー インパルスシーラーをお買い上げいただきありがとうございます。本器を十分に活用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、内容をご理解の上、ご使用いただきますようお願い申し上げます。特に赤字部分は、重要事項です。

注意、警告、危険表示について

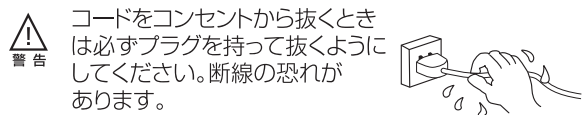
本取扱説明書の中で、人体や機械に損害を与える危険性のある箇所に、それぞれの表示で表しておりますので、記載事項をよくお読みの上、ご使用下さいませようお願い申し上げます。

- ⚠ **注意** 人体に軽傷や火傷を負ったりする可能性のあることを意味します。
- ⚠ **警告** 人体に重傷を負ったり機械が破損する可能性のあることを意味します。
- ⚠ **危険** 人体に重傷を負ったり死亡する可能性のあることを意味します。

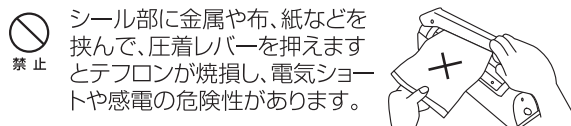
1) 電源は100V用の適切なコンセントをご利用下さい。



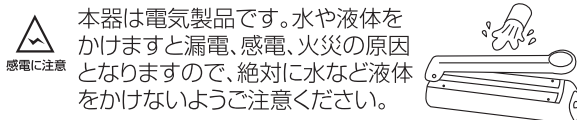
3) 電源コードを引っぱってコンセントから抜かないで下さい。



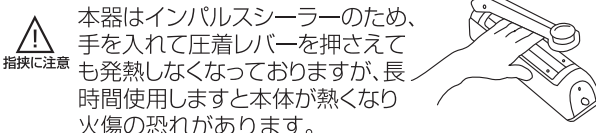
5) シール部に金属や異物を入れないでください。



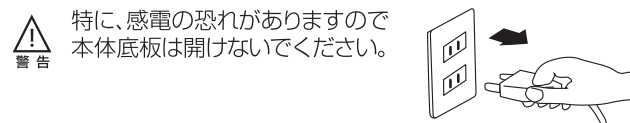
2) 本器やコンセントに水など液体をかけないでください。



4) シール部に手を入れたりしないで下さい。

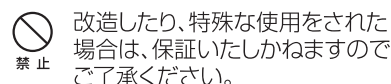


6) 部品交換の時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。ヒーター線、テフロンシートの交換の時は、必ず電源コードをコンセントから抜いて作業を行ってください。



7) 改造しないでください。

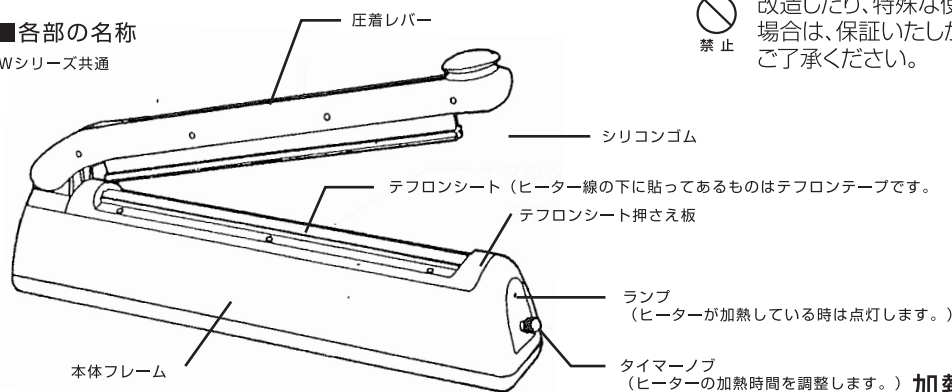
本器は厳選されたパーツを使用して構成されております。



仕様

■各部の名称

Wシリーズ共通



加熱目盛の温度調整目安表

機種名	電圧 V	電力 W	シール幅 mm	シール長さ mm	重さ Kg	器機寸法 幅×長さ×高さ
W-205P(カッター無)	100	600	5.0	200	2.3	75×320×175
W-305P(カッター無)	100	750	5.0	300	3.6	90×440×245

タイマー 目盛り	加熱時間	必要な冷却時間目安 (クーリングタイム)
1	0.375秒	2秒
2	0.75秒	3秒
3	1.125秒	4秒
4	1.5秒	5秒
5	1.875秒	6秒
6	2.25秒	7秒
7	2.65秒	8秒
8	3.0秒	10秒

※赤ランプが消えた後のクーリングタイムの間は
レバーを下したままにしてください。

■補修パーツ

機種名	パーツ名	ご注文時の 商品コード	標準価格
W-205P (カッター無)	補修セット (ヒーター線×1テフロンシート×1テフロンテープ×1)	44555	2,000円
	ヒーター線 (3本入)	44515	2,200円
	テフロンシート (5枚入)	44535	3,300円
	テフロンテープ (5枚入)	44545	3,300円
	シリコンゴム (1本入)	44525	1,100円
W-305P (カッター無)	補修セット (ヒーター線×1テフロンシート×1テフロンテープ×1)	44556	2,000円
	ヒーター線 (3本入)	44516	2,200円
	テフロンシート (5枚入)	44536	3,300円
	テフロンテープ (5枚入)	44546	3,300円
	シリコンゴム (1本入)	44526	1,100円

重要 クーリングタイムを十分にとりませんとヒーター線及びテフロンシートなど補修パーツの寿命が短くなります。

重要 滅菌用ロールパウチの場合
タイマーの目安は **ビニール面を下にして** 目盛2.5以下でシールしてください。3以上でご使用されますと補修部品の寿命が極端に短くなりますのでご注意ください。

使用方法

① タイマーノブの目盛を2.5に合わせます。
室温が低い場合は初めの2～3回は2.5より少し上にして、その後は2～2.5に戻してください。

② ロールパウチを左手で持ち、ビニール面を下にして圧着レバーノブを押さえてください。

注
意

ビニール面を上にしてシーリングされますとヒーターの熱が紙面を通してビニール面へ伝わることで標準の加熱時間（目盛2.5）の使用ではシール不良の原因となります。また、3以上でお使いになりますとテフロンシートの焦げが早く発生し、ヒーター線の寿命も短くなりますので必ずビニール面を下にし、タイマーの目盛は2.5でご使用ください。

③ 赤ランプが消えてから2～4秒後にブザーが鳴ります。その後、圧着レバーを上に戻してください。

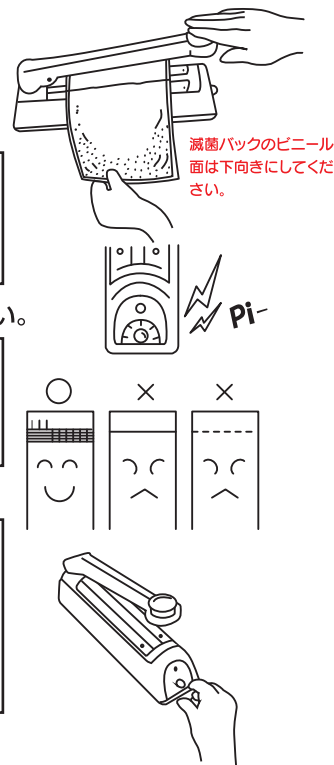
注
意

ランプが消えてからブザーが鳴るまでの時間を「クーリングタイム」と言います。溶けたビニールが紙にしみ込むために必要な時間です。この時間を十分に確保せず連続使用されますとシール不良・故障の原因となります。

④ シールが完全にできているか確認した後、連続作業を行ってください。

注
意

連続使用時はヒーター部の温度が上昇しますので、タイマーノブの目盛を少し下げてください。又、シールとシールの間隔は15秒以上あけてください。加熱タイマーを長くして（3以上）連続使用されますと本体が熱くなり、トランスが焼けることがあります。連続使用される場合は必ず目盛を下げ、クーリングタイムを充分にとってください。本体が熱くなった場合は作業を中断し、本体が冷えるまで待ってください。テフロンシートはとても熱くなっていますので絶対に触れないでください。



消耗品の交換

1) テフロンシートの交換

テフロンシート押さえ板の全てのネジを取り、テフロンシート押さえ板を持ち上げて焦げたテフロンシートを取出してください。新しいテフロンシートをヒーター線の前後左右の中心に合わせて置き、テフロンシート押さえ板を上から押さえつけてネジで締めつけます。

2) ヒーター線の交換

テフロンシートの交換の要領でテフロンシートをはがし、下にあるヒーター線の両端のネジをプラスドライバーで緩め取り除いてください。まず新しいヒーター線を奥側の電極スプリングにネジ止めし、次にヒーター線を手前に引っ張りながら本体ターミナル部に同じネジでしっかり締め付けてください。

注
意

ヒーター線取付ネジの締め付けが弱い場合、接触不良により小さな火花がでることがあります。この場合、火花の熱でヒーター線が溶け、断線の原因となります。ヒーター線の取付後、レバーを下げ、スパークが起こらないことを確認のうえテフロンシートをかぶせテフロンシート押さえ板をネジで止めてください。

3) テフロンテープの貼り替え

テフロンシート押さえ板⇒テフロンシート⇒ヒーター線の順番でそれぞれを取り外し最後にテフロンテープを外し新しいテフロンテープと貼り替えます。

注
意

本体にテフロンテープのノリが残っていた場合は、指でこすり落として平滑になっていることを確認のうえ新しいテフロンテープのはく離紙をはがして貼り付けてください。

4) シリコンゴムの交換

圧着レバーを上を持ち上げ、シリコンゴムを上部に引っ張って抜き取ってください。新しいシリコンゴムを圧着板のレールに添わせて上からはめ込み、圧着板の上下のサイズに合わせてください。

注
意

シリコンゴム・テフロンシートが黒く焦げてきた場合は早めに新しい物と交換してください。

B.S.A.インパルスシーラー保証書

形 式	B.S.Aインパルスシーラー W-205P・W-305P	保証期間 6か月 (シリコンゴム・テフロンシート・テフロンテープ・ヒーター線は保証対象外)
お買い上げ日	年 月 日	
お客様 ご住所 ご芳名	〒 TEL	印
販売店		

取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合無償修理致します。

商品についてのお問合せ

株式会社ビーエスエーサクライ

〒468-0014 名古屋市天白区高島1-117-1 TEL(052) 805-1181 FAX(052)805-1182 <http://www.bsa-sakurai.co.jp> E-mail:contact@bsa-sakurai.co.jp